

研究のご説明

令和5年3月17日

磐田市立総合病院 緩和ケアセンター

前田和秀

研究名

コロナ禍での面会制限が家族(遺族)に与える影響のインターネット調査を用いた検討

1. 研究対象者

2021年1月1日～2021年12月31日の間に当院でがんによりご逝去された患者様のご遺族

2. 研究目的・方法

「目的」本研究では当院の日本ホスピス緩和ケア協会のインターネットによる遺族調査の結果と、以前行なった日本ホスピス緩和ケア研究振興財団によるJ-HOPE4の集計結果を比較することで、コロナ禍での面会制限がご遺族から見た患者様への緩和ケアの評価に変化を与えているのかを明らかにすることを目的としています。

「方法」インターネットを用いた日本ホスピス緩和ケア協会の遺族調査を行ないます。その結果と以前の当院での遺族調査（日本ホスピス緩和ケア研究振興財団によるJ-HOPE4）の結果を比較し、統計学的検討を行ないます。

「研究期間」当院の病院長による承認後～2024年3月31日です。

3. 本研究で用いる情報の種類

- ・ 患者様の情報（電子カルテより）：年齢、性別、入院期間、主病名、原発部位
- ・ ご遺族の情報（電子カルテより）：患者様とのご関係、連絡先（資料送付のため）
- ・ 日本ホスピス緩和ケア協会のインターネットによる遺族調査の当院の結果
- ・ 日本ホスピス緩和ケア研究振興財団によるJ-HOPE4の当院の結果

4. 研究に関する情報公開について

この研究の最終的な結果は学会に公表される予定ですが、結果は研究に参加いただいたご遺族からのアンケート結果等の情報をまとめた状態で報告されるので、患者様やご遺族のお名前などの個人情報が入る情報が公開されることはありません。

5. 研究計画書等の閲覧について

研究について詳しく知りたい場合は、他の研究対象者の個人情報保護や研究の独創性に支障のない範囲で研究計画書や研究の方法に関する資料を見ることができます。担当者までお問い合わせください。

6. 個人情報の取扱いについて

ご遺族から得られたアンケートの結果などの情報は、誰のものかわからないようにして（これを「匿名化(とくめいか)」といいます）、医学雑誌や学会に発表されることがあります。しかし、患者様やご遺族の住所、氏名、電話番号、診療録番号などの個人情報は保護され、公表されることも、研究データとして使用されることも一切ありません。

この研究の適正な実施のために、臨床研究審査委員会などの関係者若しくは研究が適切に実施されていることを確認する者が、患者さまの診療に関する記録を閲覧することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務が課せられておりますので、患者さまやご遺族の個人情報は守られます。

7. 研究より得られた結果の取扱い

あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は開示いたしません。また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、日本ホスピス緩和ケア協会のインターネットによる遺族調査にご参加いただけない、もしくは情報が当該研究に用いられることについてご遺族もしくはご遺族の代理人の方にご了承いただけない場合でもご遺族に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

「住所」静岡県磐田市大久保 512-3

「電話」0538-38-5000（代）

「担当者の所属・氏名」磐田市立総合病院 緩和ケアセンター・前田和秀

研究責任者：磐田市立総合病院 緩和ケアセンター・前田和秀